

☆検査項目一覧

※塗りつぶし項目は、法定健診検査・特定健診検査

検査項目	検査内容	目的やわかること	一般健診	日帰り人間ドック	備考
◆問診	健康調査、生活習慣、病歴、家族歴など	日常生活や健康状態をチェックします。	○	○	
◆診察	胸部聴診		○	○	
◆身体計測	身長、体重、BMI	やせすぎや太りすぎをチェックします。	○	○	
	腹囲測定	肥満（腹腔内脂肪蓄積）状態を調べます。	○	○	
◆血圧測定		高血圧は脳出血、心臓病、腎障害などの原因となります。	○	○	
◆眼科	視力測定	近視や眼の疾患の有無を調べます。	○	○	
	眼底検査	網膜の毛細血管の状態から動脈硬化や高血圧、糖尿病などの合併症の進み具合がわかります。	○	○	*一般健診にオプション追加可
◆聴力	聴力検査（1000Hz、4000Hz）	聴力のおとろえなどを調べます。	○	○	
◆尿検査	糖、蛋白、潜血	尿中の成分を見ます。糖は糖尿病発見の手がかりとなります。蛋白は、腎臓病発見の手がかりとなります。	○	○	
	尿沈渣	尿中の成分、細胞、血漿などを調べます。腎・尿路の状態をチェックします。	○	○	
◆便潜血	便潜血反応検査（2日法）	便に血が混じている場合、腸から肛門までの出血が疑われます。大腸がんなどの可能性を調べます。	○	○	
◆血液一般検査	白血球数	貧血の有無、炎症や免疫低下の有無、出血の傾向、止血力、各種血球の割合などを調べます。	○	○	
	赤血球数		○	○	
	血色素量		○	○	
	ヘマトクリット		○	○	
	血小板数			○	
	末梢血液像				○
◆肝機能検査	AST（GOT）	肝臓の合成・代謝機能のほか、胆汁の流出障害など、肝、胆、脾の機能をチェックします。	○	○	
	ALT（GPT）		○	○	
	ALP		○	○	
	γ-GTP		○	○	
	総蛋白			○	
	アルブミン			○	
	LDH			○	
	アミラーゼ			○	
◆代謝系	血糖（グルコース）	糖尿病を診断する手がかりとなります。ヘモグロビンA1cは約2ヶ月間前の血糖の状態を示すもので、糖尿病の病態管理に広く用いられています。	○	○	
	ヘモグロビンA1c			○	
◆腎機能	クレアチニン	腎臓の排泄機能を調べます。体内で分解された老廃物は腎臓から排泄されます。腎機能の低下で上昇します。	○	○	
	eGFR		○	○	
	尿酸	血液中に尿酸が増えると動脈硬化や痛風を起こしやすくなります。	○	○	
◆脂質検査	総コレステロール	血液中の総コレステロール、中性脂肪が多いと動脈硬化の原因となります。動脈硬化は、心筋梗塞や脳血管障害を引き起こします。HDLコレステロールは善玉のコレステロールで動脈硬化の予防をする働きがあります。LDLコレステロールは悪玉コレステロールで、たんぱく質と脂質が結びついたものです。動脈硬化などを引き起こす作用が強いものです。	○	○	
	中性脂肪		○	○	
	HDLコレステロール		○	○	
	LDLコレステロール		○	○	
	non-HDLコレステロール		○	○	
◆胸部X線		肺や心臓の形態や病変を見ます。	○	○	
◆心電図	安静時	心電図から不整脈や心疾患などを読みとります。	○	○	
◆胃部X線		胃ポリープ、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなどの病変を見つける手がかりとなります。	○	○	*場合により、胃部内視鏡（胃カメラ）の選択も可能。
◆胃部内視鏡			○	○	
◆肺機能	努力肺活量、1秒量、1秒率の測定	肺の換気能力を調べ、肺繊維症、慢性気管支炎などを診断する手がかりとなります。		○	
◆腹部超音波		胆石や肝臓の病変、腹部の腫瘍などをチェックします。		○	*一般健診にオプション追加可

☆オプション検査項目一覧

検査項目	検査内容	目的やわかること	備考
◆子宮頸がん検診	内診所見	子宮がんなどの有無を調べます。	
	細胞診（頸管粘液）		
	HPV検査（ヒトパピローウイルス検査）		
◆乳がん検診	乳房X線検査（マンモグラフィー）	乳腺炎や乳がんなどの有無を調べます。視診・触診では発見しにくい、小さな病変を発見するための検査です。	
◆骨塩定量検査	DEXA法	骨塩（カルシウムとリン酸）の量を調べ、骨粗鬆症の診断を行います。	
◆動脈硬化検査	CAVI／ABI検査	脳梗塞や心筋梗塞などを引き起こす原因となる動脈硬化や、それによる血管の狭窄の有無について調べる検査です。	
◆肝炎ウイルス検査	HBs抗原	B型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査です。	
	HCV抗体	C型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査です。	
◆採血による腫瘍マーカー検査	男性（CEA・CA19-9・SCC・PSA）	腫瘍マーカーとは、がん細胞の目印（マーカー）になる物質の総称です。がん等の悪性腫瘍のときに血液に増加します。非常にたくさんの種類がありますが、臨床現場でよく使用される項目の検査をします。	
	女性【Gセット】 （CEA・CA19-9・SCC・CA-125）		
	女性【Mセット】 （CEA・CA15-3・NCC-ST-439）		
	女性【Fセット】（Gセット+Mセット）		
◆前立腺腫瘍マーカー検査	PSA精密測定	初期には自覚症状がない前立腺がんを早期に発見するための血液検査です。	
◆ヘリコバクターピロリ抗体検査		血液検査により、胃内のヘリコバクターピロリの存在を知ることができます。	
◆甲状腺検査		血液検査により、甲状腺ホルモンの値を調べて、甲状腺の病気の診断に役立てます。	
◆胸部CT検査		胸部レントゲン写真では診断できない早期肺がんを、肺マルチスライスCT（肺の高精細断層撮影）を用いて診断します。	
◆アミノインデックス		血液中のアミノ酸濃度を測定し、がんに罹患している確率を予測する検査です。	
◆胃がんリスク検査（ABC分類）	ヘリコバクターピロリIgG抗体検査	胃にピロリ菌が感染していないか、胃粘膜の老化（萎縮）の状態はどうか。2つの検査結果の組み合わせによって、胃がんのリスクを分類します。	
	ペプシノゲン検査		
◆肺機能検査（肺年齢測定）	努力肺活量、1秒量、1秒率の測定	肺の換気能力を調べ、肺繊維症、慢性気管支炎などを診断する手がかりとなります。	